

令和5年度 石和南小学校の教育方針

1 学校教育目標

「心豊かで、たくましい子どもの育成」

～学校が、子どもにとって「学びたい学校」、
保護者にとっては「学ばせたい学校」、
地域にとっては「なくてはならない学校」、
教職員にとっては「働き甲斐のある学校」であるために～

ア) めざす児童像

- ・命を大切にし、健康で思いやりのある子ども
- ・仲間とともに、進んで学び、活気のある子ども
- ・きまりを守り、最後までやりぬく子ども
- ・協力し、実行する子ども

イ) めざす学校像

- ・安心できて、明るく楽しい学校
- ・心が落ち着く、温かな学校
- ・体を鍛え、学力を高める学校

ウ) めざす教師像

学校における最優先事項は、子どもの命と安全を確保することである。

その考えに立ち

- ・子どものために苦労をいとわず、誠実に取り組む教師
- ・子どもが分かる授業を創造するため、自らの指導力の向上をめざす教師
- ・学びの基盤である家庭（保護者）・地域と連携し、子どもの幸せを導く教師

2 具体的な取り組み

「確かな学力」の育成と学びを深める教育

～（知）「学び合う学び」の創造と「確かな学力」～

〈学ぶ楽しさを実感し、自学（自ら学習）のできる子〉

- ・よく聴き、深く考え、豊かに表現する子どもの創造（学び方の習慣化）
～「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現を図る～
- ・教材とつながり、仲間とつながり、自分とつながる授業の創造
(学ぶ意欲と確かな学力の定着)
- ・すべての子どもが尊重される学級（学校）文化の創造
(聴き合う関係づくり、お互いを尊重しあう学級づくり)

※南っ子は、「みなみルール」で学び方を学ぶ。

※南っ子は、自分の将来の夢の実現に向けて、みんなで学ぶ。

※南っ子は、学び合う友だちを大切にする。

《 みなみルール 》

1 【 学習への心がまえ 】

- ① 授業をきちんとはじめよう！（開始時刻までに学習の準備をして、静かに座って待ちましょう）
- ② 正しい姿勢をしよう！（足はぺったん、背中はピン、お腹と背中にグー1つ）
- ③ 【はい】の返事をしっかりしよう！
- ④ 学習に必要な用具をととのえよう！
 - * 低学年（1年・2年・3年）
 - ・筆箱の中身は、鉛筆5本、消しゴム1個、ミニ定規、赤青鉛筆
 - * 高学年（4年・5年・6年）
 - ・筆箱の中身は、鉛筆5本、消しゴム1個、ミニ定規、赤鉛筆と青鉛筆（赤ペンと青ペン）を1本ずつ、マーカー1本
- ⑤ 「共書き」に取り組もう！

2 【 聞く・話す 】

- ① 静かに、しっかり話を聞こう！
- ② ていねいな言葉遣いをしよう！（先生との会話は、「です」「ます」をつけましょう）
- ③ 友だちを優しく呼ぼう！

3 【 校内での過ごし方 】

- ① 服装を整えよう！（踵を踏まないで履きましょう。防寒着は室内では脱ぎましょう。）
- ② 静かに移動・集合しよう！

しなやかな心と丈夫な体をつくる教育

～（徳）「豊かな心」の育成～〈礼儀正しく、やさしい子〉

- ・道徳教育の充実と命と人権を守る教育の推進
(一人一人が大切にされる学級（学校）づくり)
- ・読書活動の充実
(読み聞かせボランティアとの連携、保護者・教師による読み聞かせの推進)

※南っ子は、みんななかよし。

※南っ子は、読書好き。

※南っ子は、感謝の気持ちを込めた、挨拶ができる。

※南っ子は、下駄箱の靴の整頓や傘立てへの傘の整頓ができる。

※南っ子は、無言清掃ができる。

豊かな成長を支える教育環境の充実

～（体）「健やかな体」の育成～〈遊びや運動に親しみ、たくましさをもった子〉

- ・運動習慣の定着（「たくましい力」の育成、「なわとび・マラソンの取組」）
- ・心の健康づくり（「心の健康教育」の推進）
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の定着（基本的生活習慣の定着）

※南っ子は、運動好き。

※南っ子は、友だちの面倒見がよく、優しい。

3 学校経営目標

めざす子ども像

「あいさつと笑顔があふれる心温かな学校（学級）で、学びに集中する子ども」
子どもチャレンジ目標

- ・誰に対しても、心の通う丁寧なあいさつができるようになろう。
- ・「ありがとう」と言える人、「ありがとう」と言ってもらえる人になろう。
- ・話し手の説明が、理解できる聞き方ができるようになろう。
(聞き手に分かりやすく説明できるようになろう。)
- ・相手を思いやる丁寧な言葉遣いができるようになろう。
- ・「みなみルール」を身に付け、集中して学べるようになろう。
- ・「下駄箱の靴の整頓」「無言清掃」ができるようになろう。
- ・「みなみルール」を守って生活できるようになろう。

教師チャレンジ目標

【子どもたちの長所を褒めて認める。短所を改善させるよりも長所を伸ばす。】

- ・本校の子どものために、「労をいとわず、誠心誠意、笑顔で」接していく。
- ・本校の子どものために、「チームみなみ」で取り組んでいく。
- ・本校の子どものために、「連携プレー」で取り組んでいく。

4 学校経営推進の具体的な実践

(1) 「確かな学力」の育成と学びを深める教育

◇学校全校で取り組む学習規律の確立

- ・「みなみルール」の定着
- ・「やまなしスタンダード」「考えを深める学習過程」を意識した授業展開

◇子ども実態に即した校内研究の推進

- ・課題の明確化（知的好奇心を喚起するような課題、多様な考えを引き出す課題）
- ・個の意見の可視化（板書、ホワイトボード、ＩＣＴの活用 等）
- ・考えを深める意図的な問い合わせ（なぜそう考えたのか、よりよくするにはどうするのか 等）
- ・学級力向上プロジェクトを取り入れた学級づくり
- ・ともに考え方支え合う学級、学年、全校集団をめざした活動
- ・つながりを深める環境づくり（家庭や保育所等とつながる実践）

◇言語活動の充実

- ・言語活動の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

◇教師の授業力や学級経営力を生かした教育実践

- ・学力学習状況調査結果を活用した授業実践
- ・一人一実践による授業提供

◇少人数指導やチームティーチング指導

- ・少人数指導やTTによる授業実践（非常勤講師・市担講師等の活用）

◇朝学習・学びの放課後教室・市学力向上委員会の取組等の実施（基礎学力向上への取組）

- ・算数、国語の基礎的内容の定着

◇読書活動の推進

- ・「朝の読書タイム」の充実
- ・保護者や教師による読み聞かせ

◇福祉教育の推進

- ・児童会活動（書き損じ葉書、タオル、お米等の収集）やクラブ活動（高齢者とのゲートボール等）による実践
- ・4年生の福祉教育（福祉講話、福祉体験等）
- ・6年生の一日民生委員活動

◇環境教育の推進

- ・太陽光発電を生かした環境学習（エネルギー問題等）
- ・3年生の環境学習（ゴミ問題、地球温暖化、エコ・アクション・リサイクル活動等）

◇外国語教育の充実

- ・「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の4技能五領域の言語活動を実施し、コミュニケーション能力を育成する。
- ・学級担任とALT、外国語アシスタントとの英語活動や国際理解教育の実践

◇伝統や文化等に関する教育の推進

- ・ふるさとに誇りをもち、地域や世界で活躍できる人材の育成
- ・「ふるさと山梨」の活用や地域との連携等による郷土学習の推進

◇情報教育の推進

- ・情報モラルと情報活用能力の向上
- ・ICTの有効活用を進めながら「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。
- ・各教科等の学習内容と関連付けながら、適切なプログラミング教育の実施

◇キャリア教育の推進

- ・全体計画及び年間指導計画に基づくキャリア教育の実践的な計画
- ・教育活動全体で推進する生き方の系統的な指導
- ・自己実現に向け、特に「職業観」「勤労観」「自己理解」「生き方」についての指導

◇家庭と連携した家庭学習の充実

- ・「家庭学習の手引き」、「チェックカード」、「学びの甲斐善八か条」の活用

◇スタートカリキュラムの推進

- ・幼児期の生活から小学校生活への円滑な接続を目指すため、接続を意識したスタートカリキュラムの実施

(2) しなやかな心と丈夫な体をつくる教育

◇学級づくり案（学級経営案）に基づく認め合う学級づくり

- ・一人一人が認め合える学級づくり（子ども理解、学級力向上プロジェクト、学級づくり案）
- ・RPDCAのサイクルによる学級集団づくり

◇道徳教育の一層の充実

- ・道徳の時間の確保と授業の工夫改善
(授業のふり返り[指導と評価の一体化]、子どもの活動の評価)
- ・道徳教育全体計画をふまえた心に響く道徳教育の推進
- ・全教育活動（日常生活、校外学習、登下校等）で推進する道徳教育

◇心に寄り添う生徒指導

- ・生徒指導年間計画と月別重点目標の設定
- ・校内生徒指導委員会による指導体制づくり
- ・児童理解と情報交換（教師間の共有化、児童の良いところ、頑張ったことを中心に）
- ・関係機関との連携（特別支援学校、ふえふき教育相談室、子育て支援課、児童相談所等）

◇学校不適応、不登校、いじめ、ヤングケアラーへの対応

- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び笛吹市ことばと発達のサポートルーム等の講師による教育相談、研修会の実施（SC、SSW活用事業、特別支援学校との連携）
- ・児童観察、教師へのアドバイス・研修、児童・教師・保護者に対しての相談

- ・いじめの早期発見と組織的な取組（いじめ実態調査の実施、インターネット上のいじめを防ぐための情報モラル教育の推進）
- ・不登校児童の保護者との連携
- ・ふえふき教育相談室との連携（ふえふき教育相談室の学校訪問等）
- ・ストレス等への対処方法を身に付けるため、SOSの出し方に関する教育の実施

◇体力づくり

- ・体力向上の一校一実践への取組
(業間休みの全校縄跳び、全校マラソン、全校遊び運動の実践)

◇健康教育の推進

・がん教育の推進（令和5年度 山梨県がん教育総合支援事業 指定）

- ・感染症対策（新型コロナウイルス感染症等）
- ・保健教育や食育の推進
- ・児童の生活実態調査の実施
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の啓発活動

◇「あいさつ・聞き方・言葉遣い」の推進

・笛吹市の取組でもある「あいさつ・聞き方・言葉遣い」への学級・学年・児童会での取組

(3) 特別支援教育の推進

◇専門性の向上

- ・特別支援教育に関する理解の促進と専門性の向上のために、本校児童の実態に応じた研修の実施

◇教育内容の充実

- ・多様性を認め合える集団づくりのための交流及び共同学習等、障害（者）理解教育の実施
- ・個別の教育支援計画を作成し、支援内容の検討及び評価の実施
- ・特別支援校内委員会を適切に実施

(4) 豊かな成長を支える教育環境の充実

◇開かれた学校づくり

- ・授業参観や学校開放日の実施
- ・学校評議員会の開催及び学校関係者評価委員会の開催
- ・学校評価の実施と学校教育活動の改善
- ・保護者と連携したPTA活動の充実
- ・児童民生委員や保護司の学校訪問と懇談会の開催

◇幼保・小学校・中学校・笛吹高校との連携

- ・地域課題研究会議（ブロック研）による中学校、町内小学校との交流授業参観
- ・幼稚園、保育園等との情報交換や保育参観、園児との交流活動
- ・御陣屋太鼓クラブの指導（農林高校 望月先生）

◇人事評価制度の取組

- ・学校の活性化と教職員の資質向上

◇安全、安心な学校づくり

- ・交通安全教室の開催（1年…入学時、4年生…金川の森での実施）
- ・集団登下校の指導（登校班指導等）
- ・避難訓練（火災、地震等）の実施（年間5回程）
- ・児童引き渡し訓練と通学路点検の実施
- ・施設設備の安全点検（毎月1回）
- ・スクールガードリーダーや児童見守りボランティア等との連携
- ・笛吹警察署との連携（学警連）
- ・防犯訓練の実施（不審者対応、他）
- ・携帯、スマートフォン、ゲーム等の活用方法についての学習会実施（高学年）